

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部

第 8 3 回 本 部 会 議

日時：令和3年10月28日（木）15：30～

場所：本庁3階テレビ会議室等

1 開 会

2 議 事

- ・ 「冬の感染拡大防止に向けて」（協議事項）
- ・ その他

3 閉 会

- | | |
|-----|----------------------------|
| 資料1 | 道内の感染状況等について（案） |
| 資料2 | 札幌市の感染状況について |
| 資料3 | 「冬の感染拡大防止に向けて（案）」 |
| 資料4 | 「冬の感染拡大防止に向けて（道案）」に対する主な意見 |
| 資料5 | 「新しい旅のスタイル」の圏域設定の解除について |
| 資料6 | 「ぐるっと北海道」の圏域設定の解除について |
| 資料7 | 「Go To Eat」の利用条件緩和について |

道内の感染状況等について (案)

【令和3年10月28日】

主な指標の状況

	感染状況			医療提供体制等の負荷			
	10万人あたり 新規 感染者数	感染経路 不明割合	PCR 陽性率	医療の逼迫具合			10万人あたり 療養者数
				入院医療		重症者用病床	
				病床使用率	入院率	病床使用率	
全道 (10/27)	1.4 人/週 (72人/週) ↓	40.3% ↑	0.5% ↓	2.2% (43床) ↓	—	1.5% (2床) ↑	2.4人 (123人) ↓
道ステージ2基準 (国ステージII)	2人/週以上 (10万人あたり)	50%以上	増加	増加	—	増加	増加

※()は実人数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

※入院率は、入院できない自宅療養者数の増加等を把握するための指標であり、療養者数が10万人あたり10人以上の場合に適用。

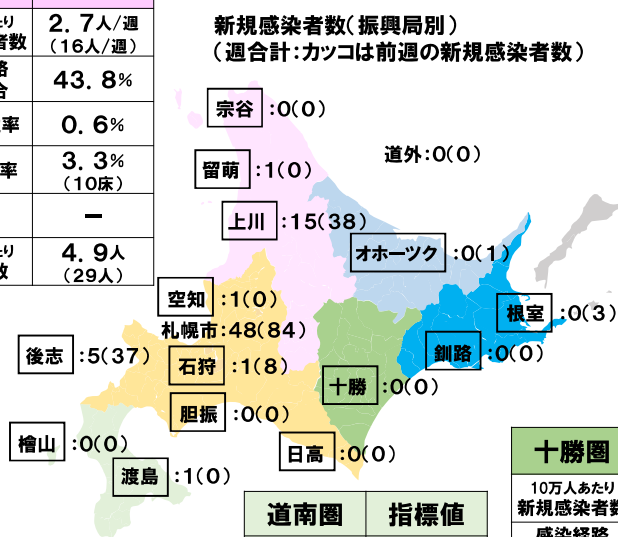
地域における主な指標の状況

【10/27現在】

札幌市	指標値
10万人あたり新規感染者数	2.4人/週 (48人/週)
感染経路不明割合	39.6%
PCR陽性率	0.7%
病床利用率	3.7% (21床)
入院率	—
重症者用病床利用率	2.1%
10万人あたり療養者数	2.9人 (57人)

道央圏 (札幌市除く)	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.5人/週 (7人/週)
感染経路不明割合	28.6%
PCR陽性率	0.3%
病床利用率	2.4% (11床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	2.7人 (36人)

道北圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	2.7人/週 (16人/週)
感染経路不明割合	43.8%
PCR陽性率	0.6%
病床利用率	3.3% (10床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	4.9人 (29人)



道南圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.2人/週 (1人/週)
感染経路不明割合	100%
PCR陽性率	0.3%
病床利用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

十勝圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床利用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

オホーツク圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床利用率	0.8% (1床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.4人 (1人)

釧路・根室圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床利用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

※地域別の感染状況や医療提供体制等の負荷は、変動が大きくなる場合があることに留意。 2

総評

【感染状況】

○ 全道の新規感染者数は、一時先週比で増加が続いたものの、10月21日から再び減少に転じ、10月24日以降はステージ2の目安を下回り、10万人あたり1.4人となっている。

【医療提供体制】

○ 療養者数、入院患者数は横ばいから減少に転じている。

【ワクチン】

○ 道民の75%超の方が1回目の接種、70%近い方が2回目の接種を終えている。

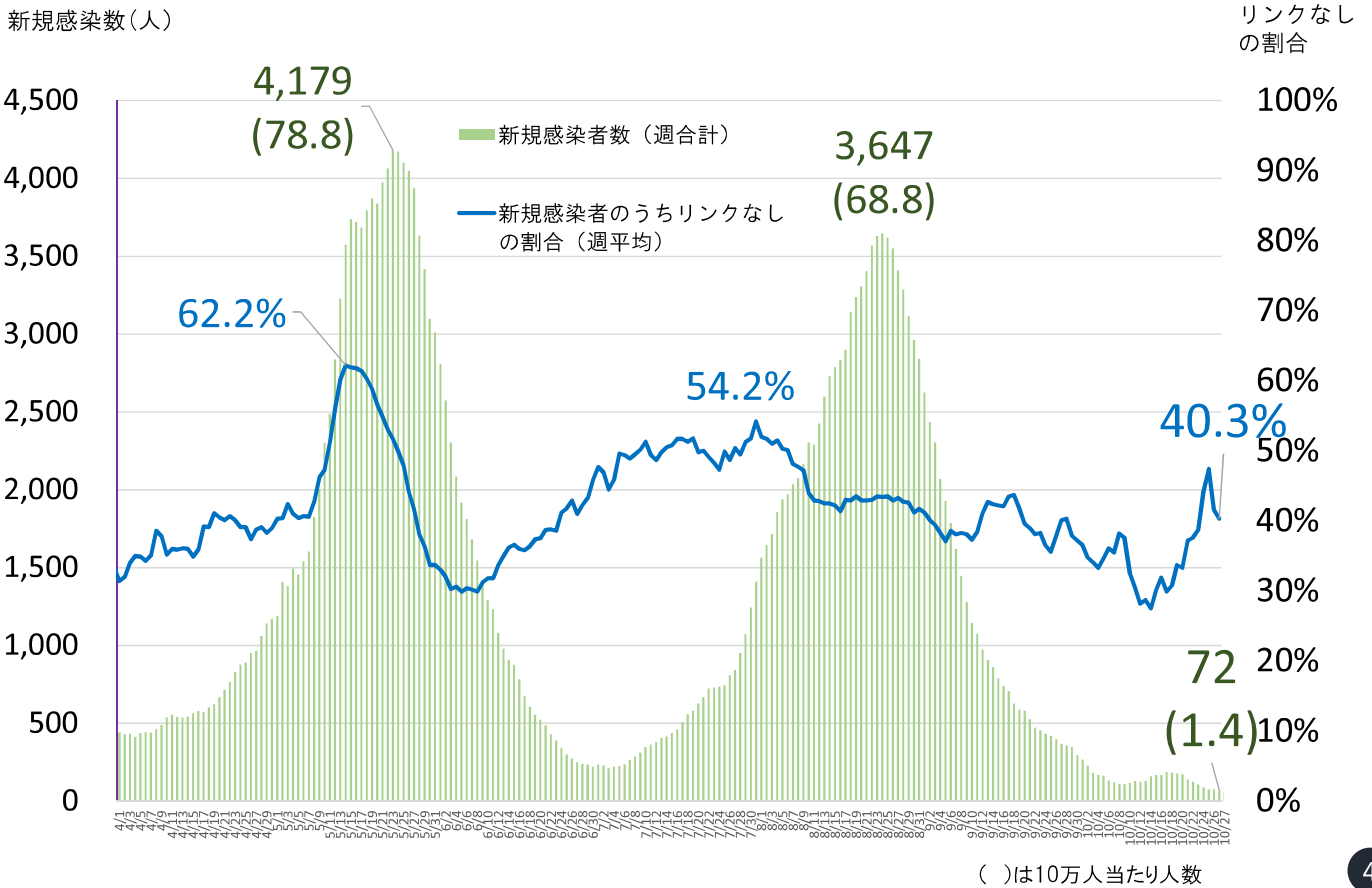
【今後の対策】

○ 現下の感染状況等を踏まえ、特別対策については、予定どおり、10月31日をもって終了し、11月1日からステージ1に移行する。

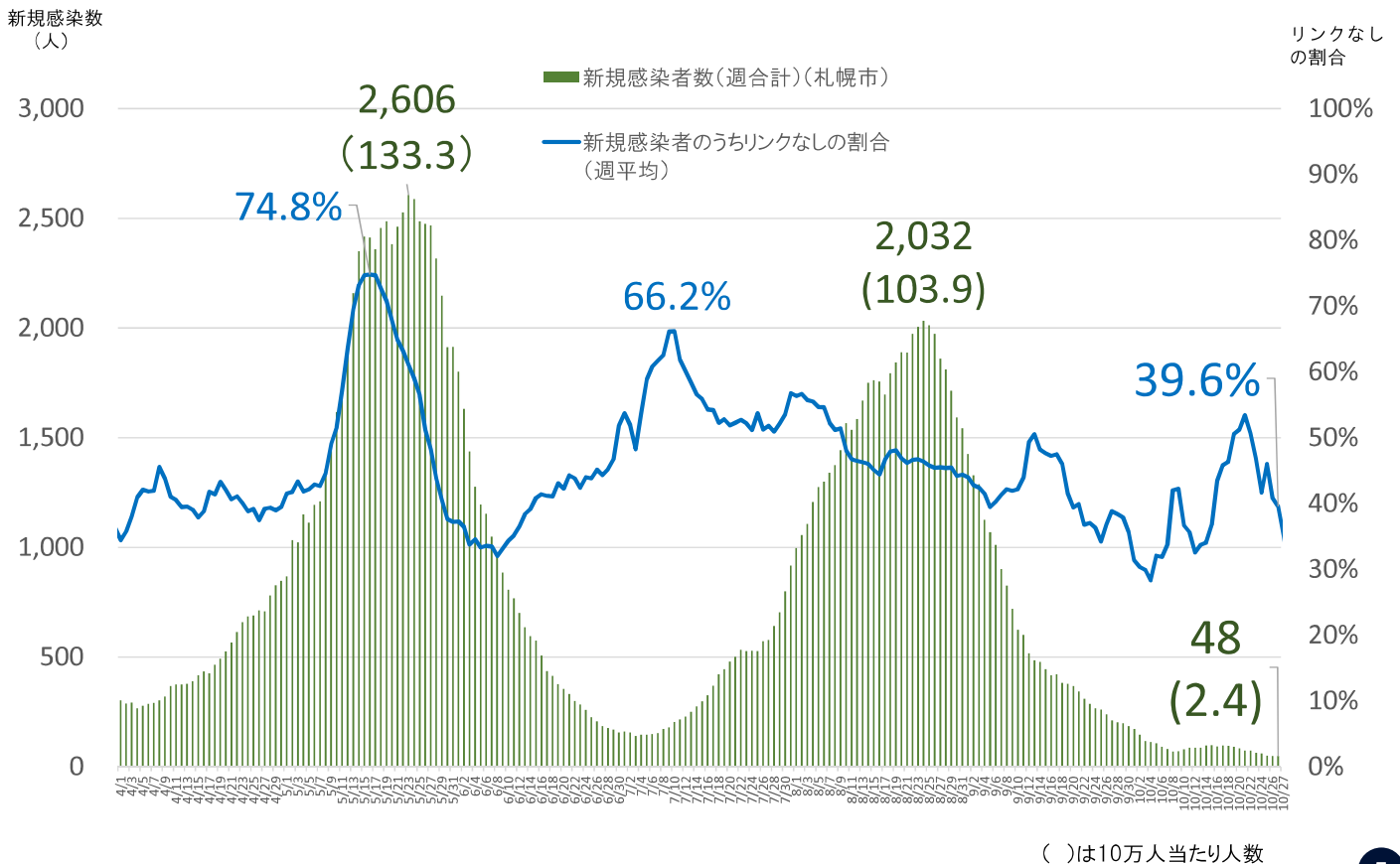
○ 今後、道内では気温が低下し、積雪の季節を迎えることから、生活環境が大きく変化し、気密性の高い建物内において暖房や窓を閉めての活動が増えることとなる。こうした屋内での活動の増加や年末に向けた社会経済活動の活発化に伴い、感染リスクが高まる可能性があることを踏まえ、換気を含めた基本的な感染防止行動の実践を呼びかける。

○ また、市町村や関係団体等と連携し、積極的な疫学調査や集団感染への迅速な対応、普及啓発など感染拡大防止に取り組むとともに、医療提供体制の確保やワクチン接種の促進、さらには、飲食店の第三者認証制度の普及促進等に取り組む。

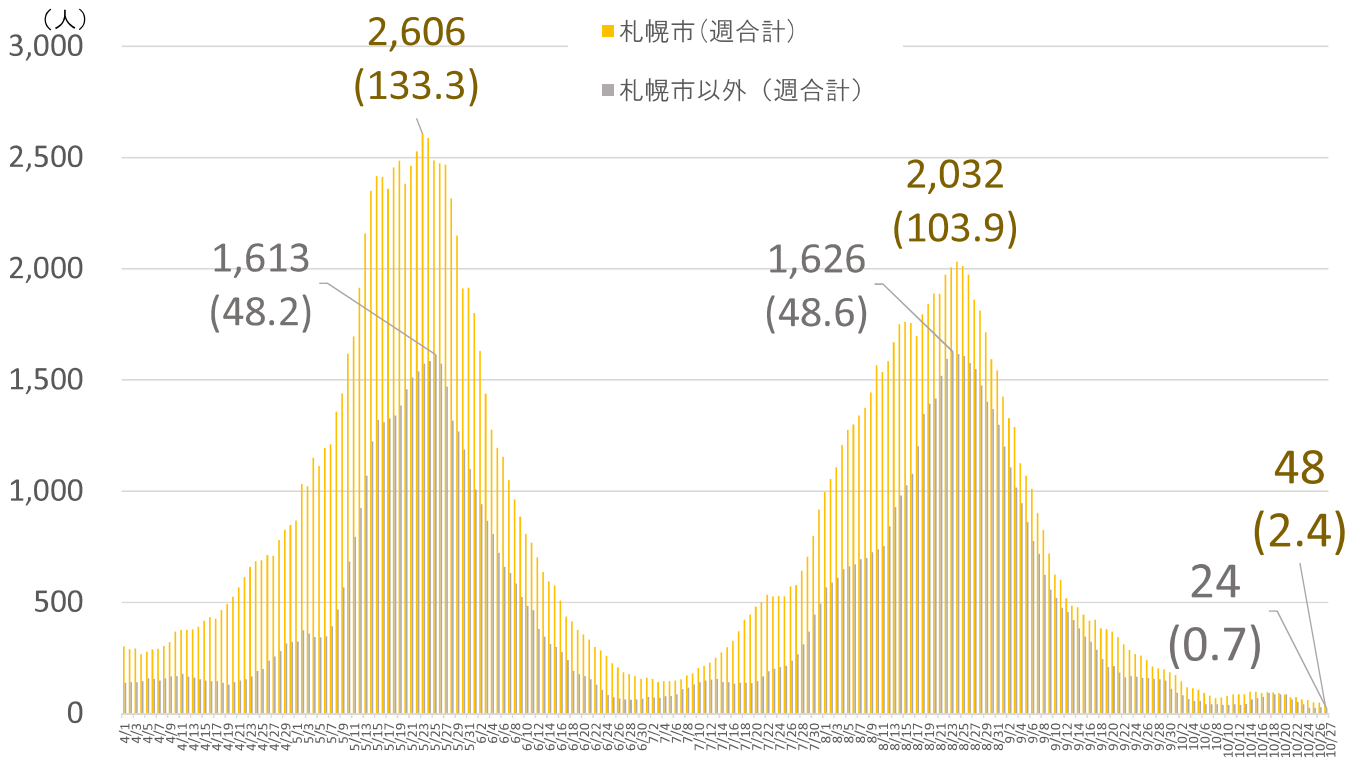
感染状況(新規感染者数と感染経路不明割合)(全道)



札幌市の感染状況



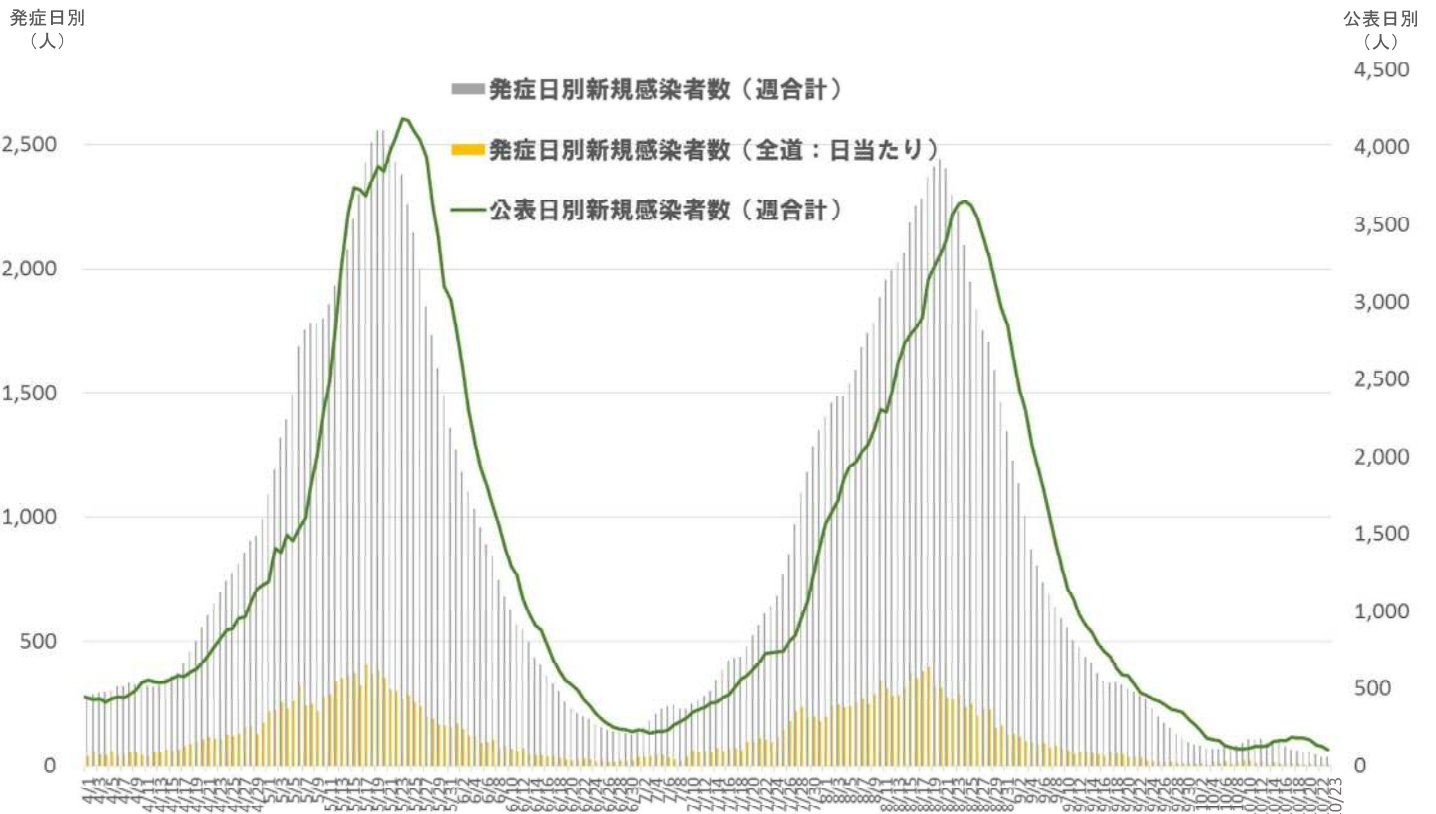
新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



()は10万人当たり人数

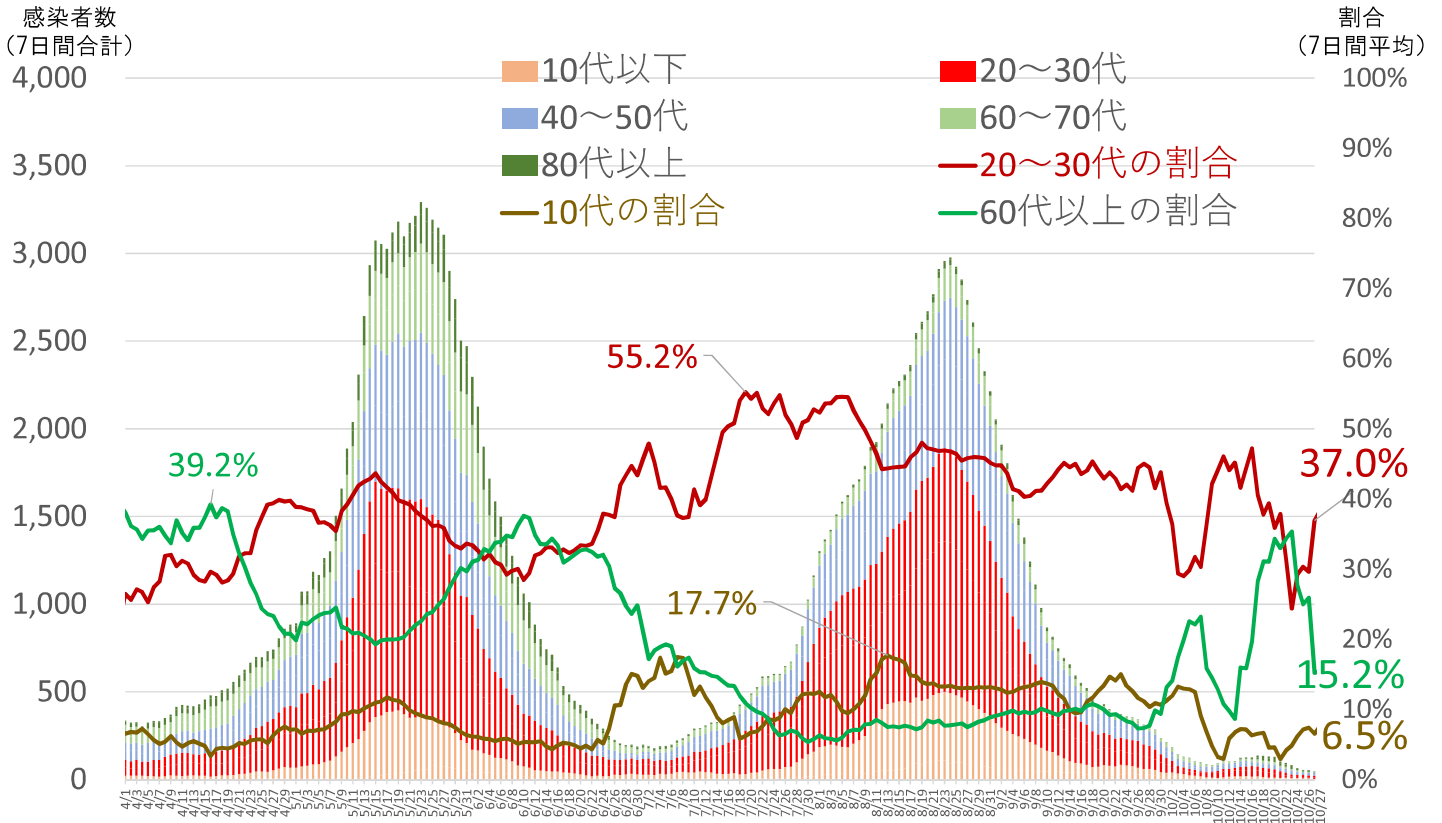
※7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者並びに札幌市以外が札幌市居住として発表した者及び居住地を「その他」として発表した者のうち札幌市居住である者を含む。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



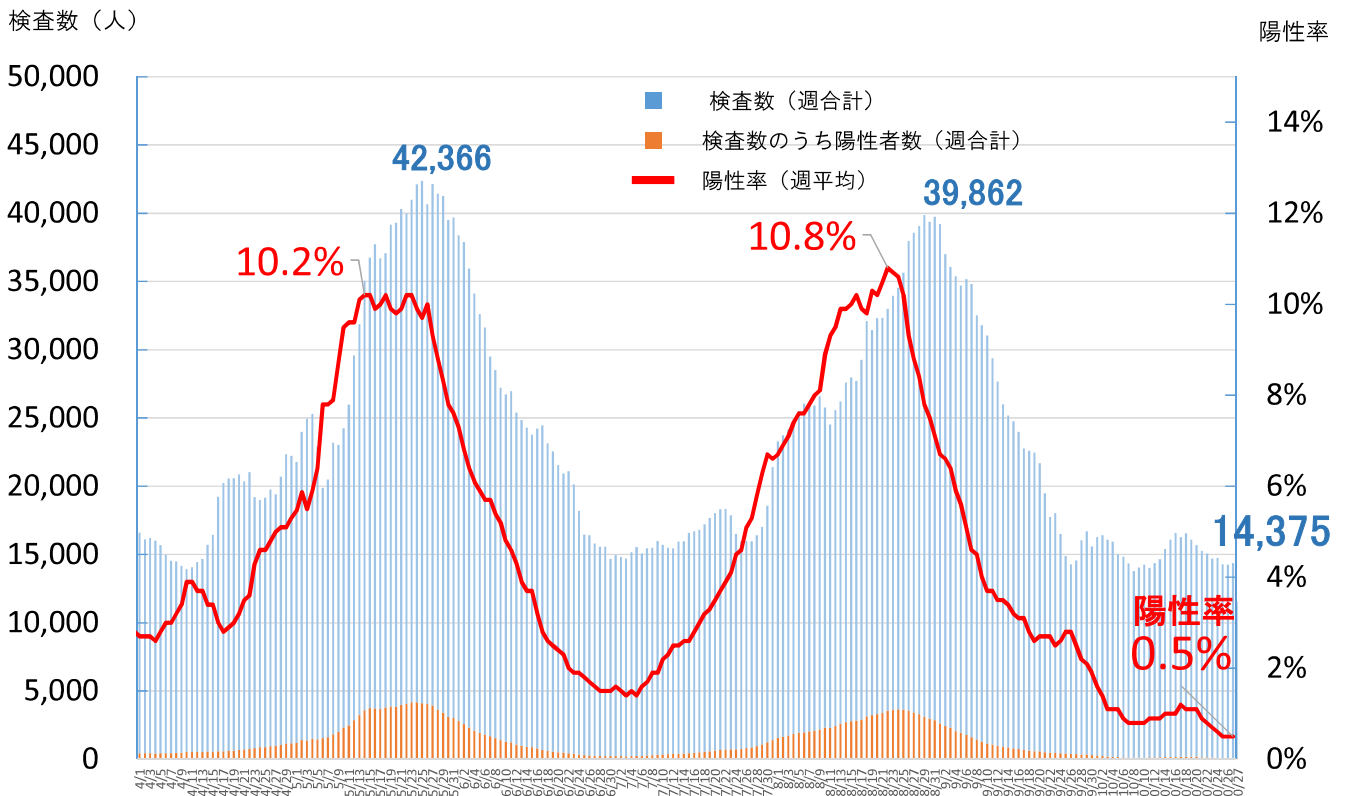
※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
 ※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数の推移(全道)

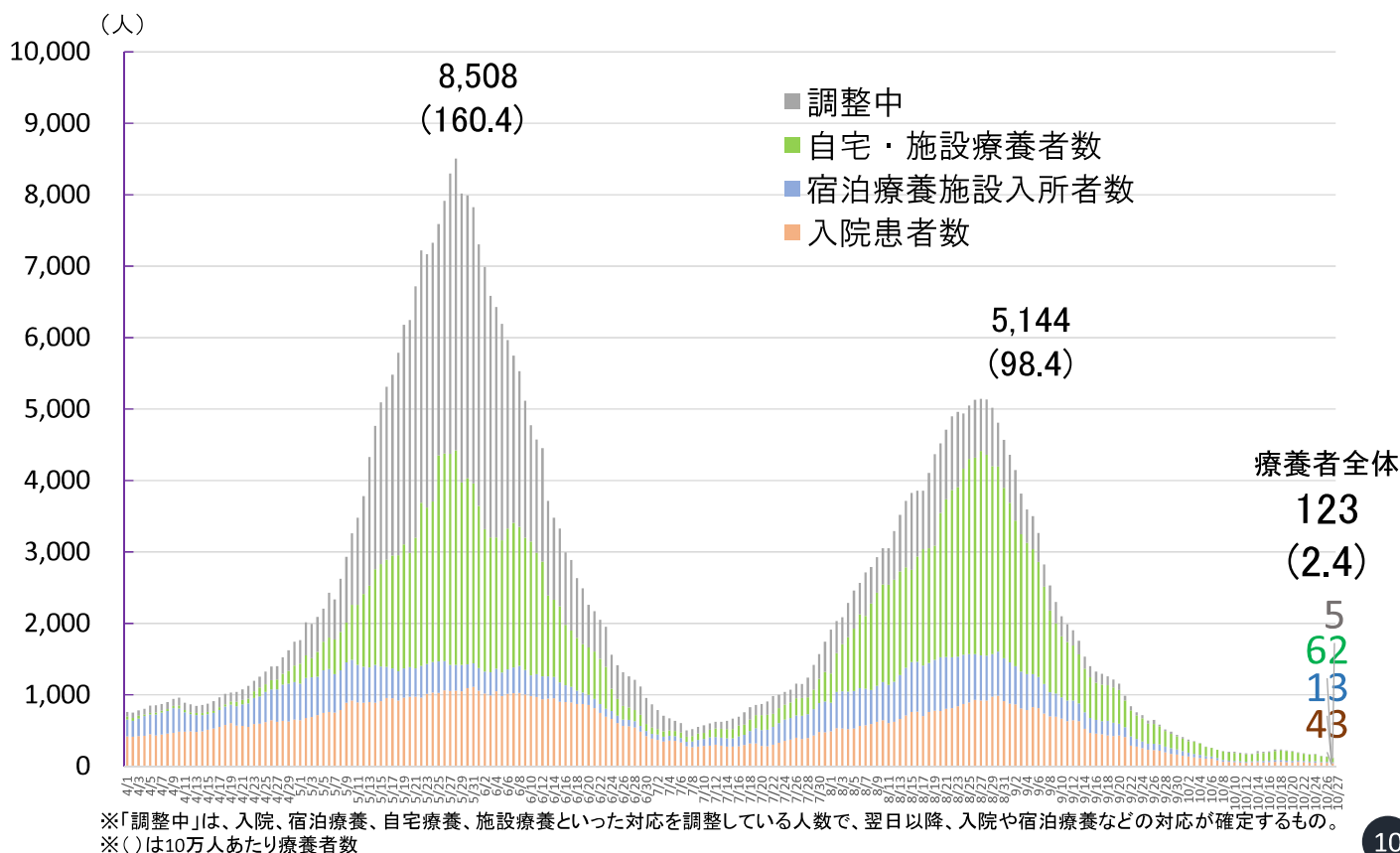


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

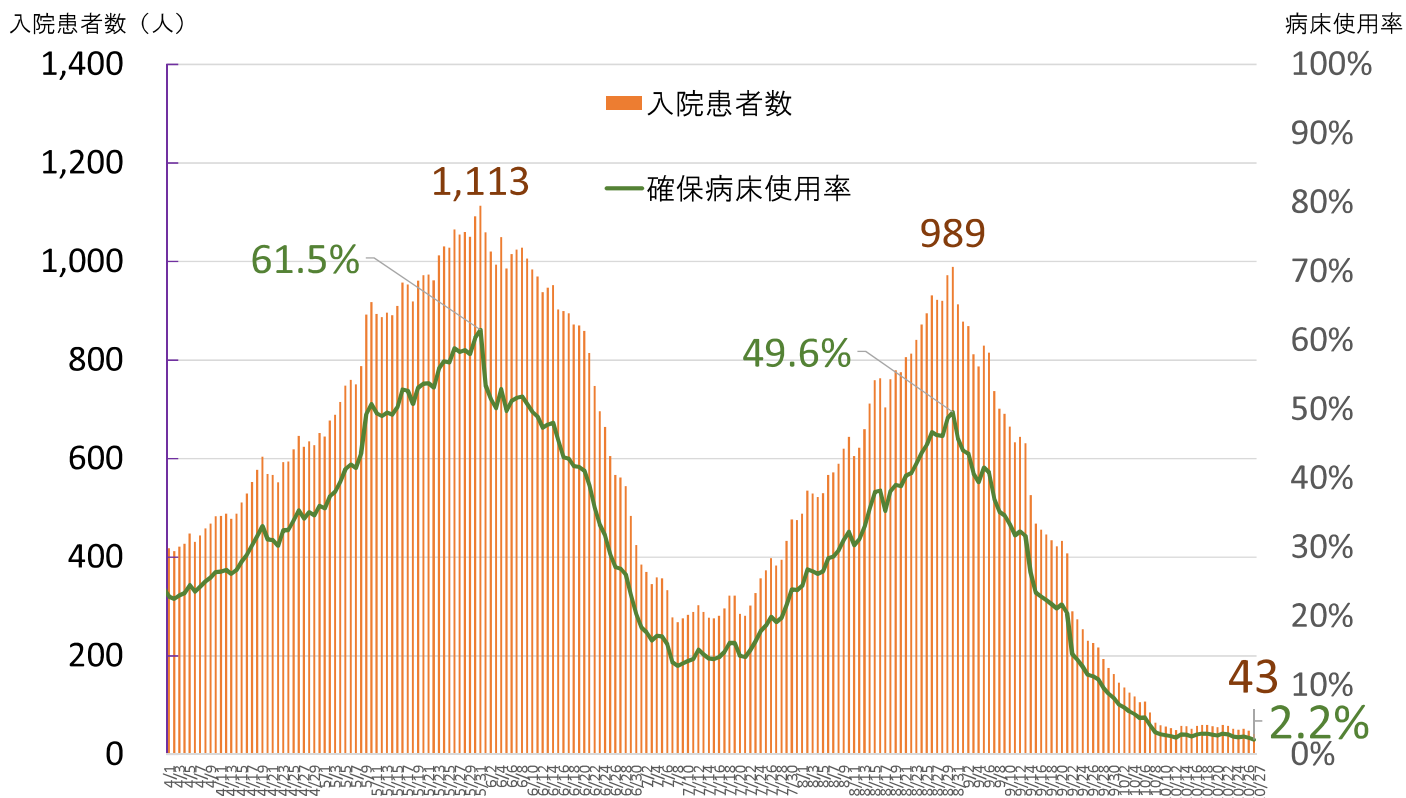
感染状況(陽性率と検査数)(全道)



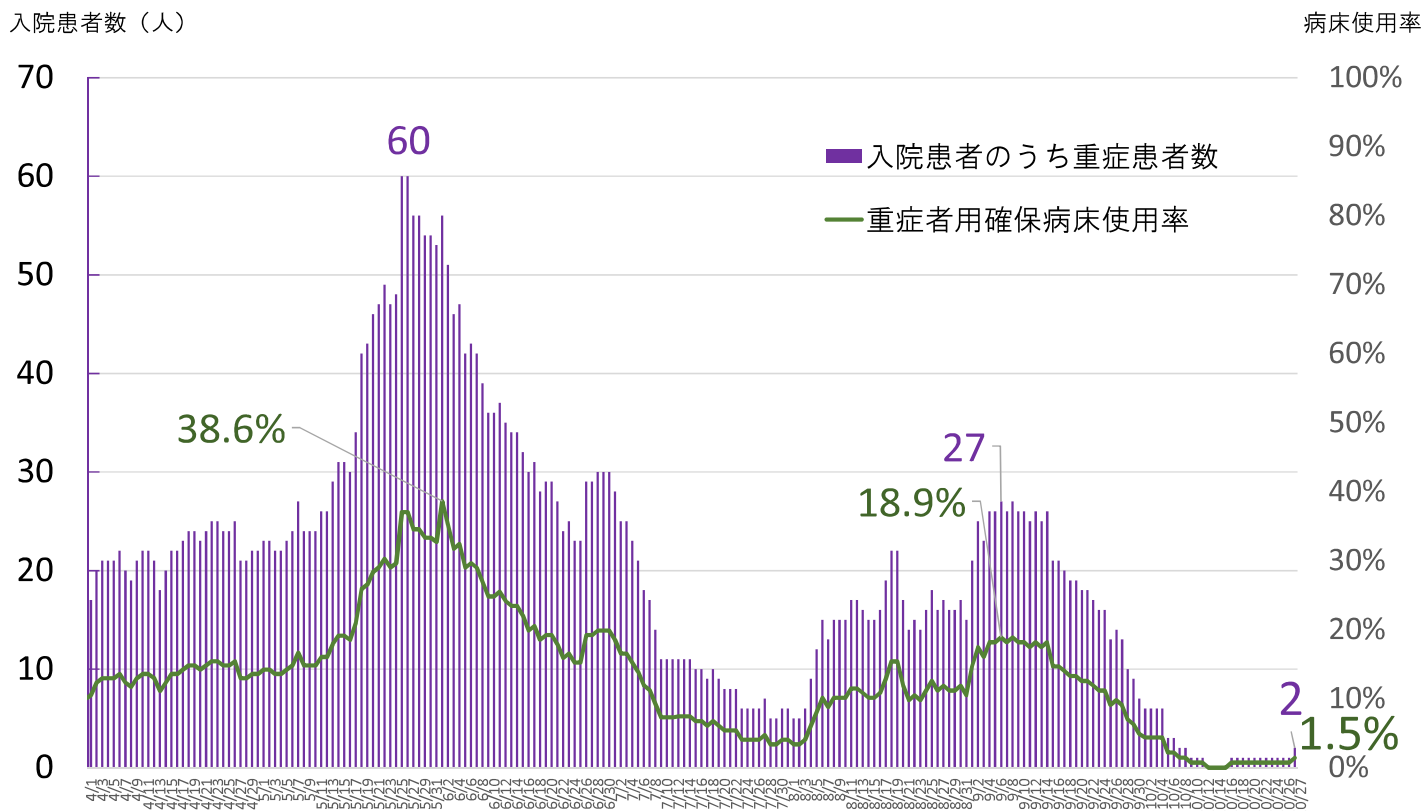
医療提供体制等の負荷(療養者全体)(全道)



医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)



12

集団感染の発生状況(全道)

	6月	7月	8月	9月	10月 (10/1~27)
医療施設 福祉施設	22件 (220人)	5件 (55人)	29件 (337人)	15件 (125人)	3件 (91人)
事業所等	26件 (260人)	18件 (142人)	52件 (535人)	26件 (202人)	3件 (28人)
飲食店等	2件 (16人)	11件 (80人)	31件 (274人)	5件 (34人)	3件 (37人)
学校	9件 (89人)	9件 (147人)	20件 (415人)	16件 (121人)	—
合計	59件 (585人)	43件 (424人)	132件 (1561人)	62件 (482人)	9件 (156人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

13

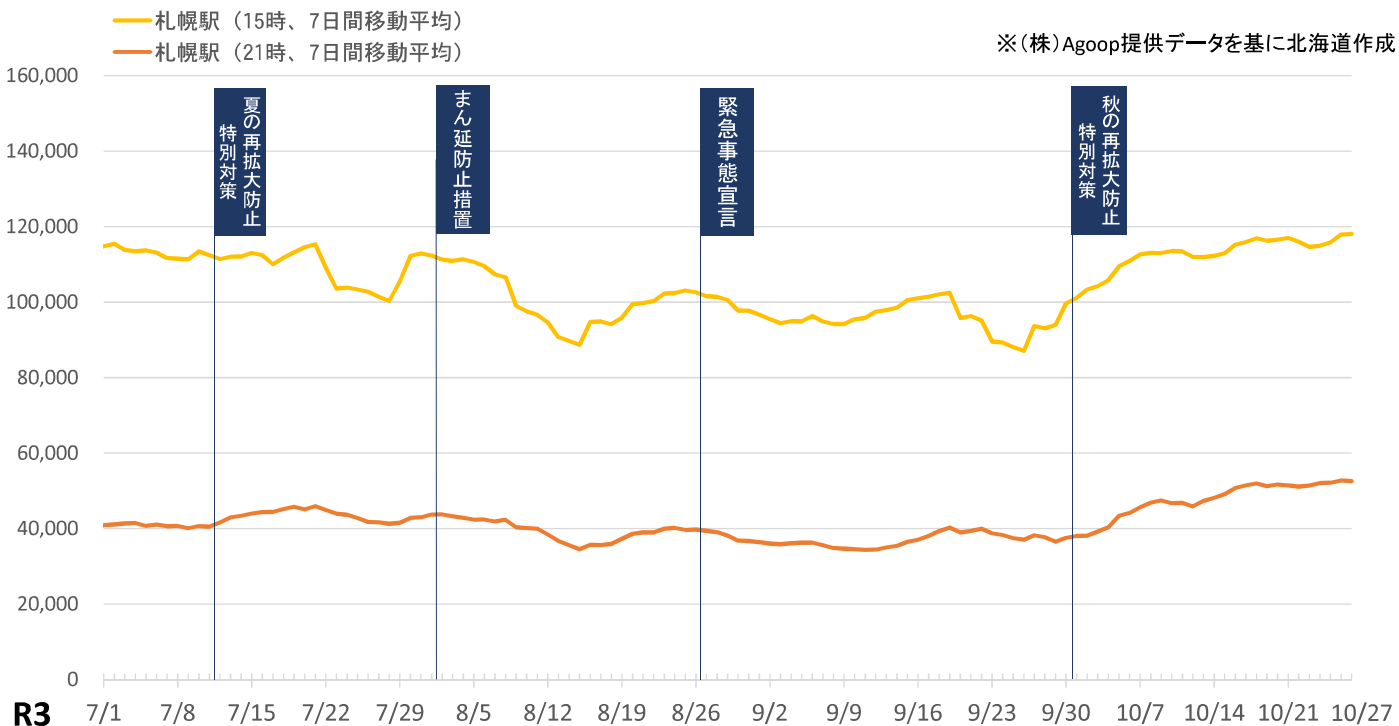
集団感染の発生状況(札幌市／札幌市以外)

	10/7~13		10/14~20		10/21~27	
	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外
医療施設 福祉施設	—	—	—	1件 (36人)	—	—
事業所等	—	1件 (14人)	—	1件 (9人)	1件 (5人)	—
飲食店等	1件 (23人)	—	1件 (8人)	—	—	1件 (6人)
学校	—	—	—	—	—	—
合計	1件 (23人)	1件 (14人)	1件 (8人)	2件 (45人)	1件 (5人)	1件 (6人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

14

札幌市の人出(札幌駅周辺)



① 秋の再拡大防止特別対策前との比較(人)

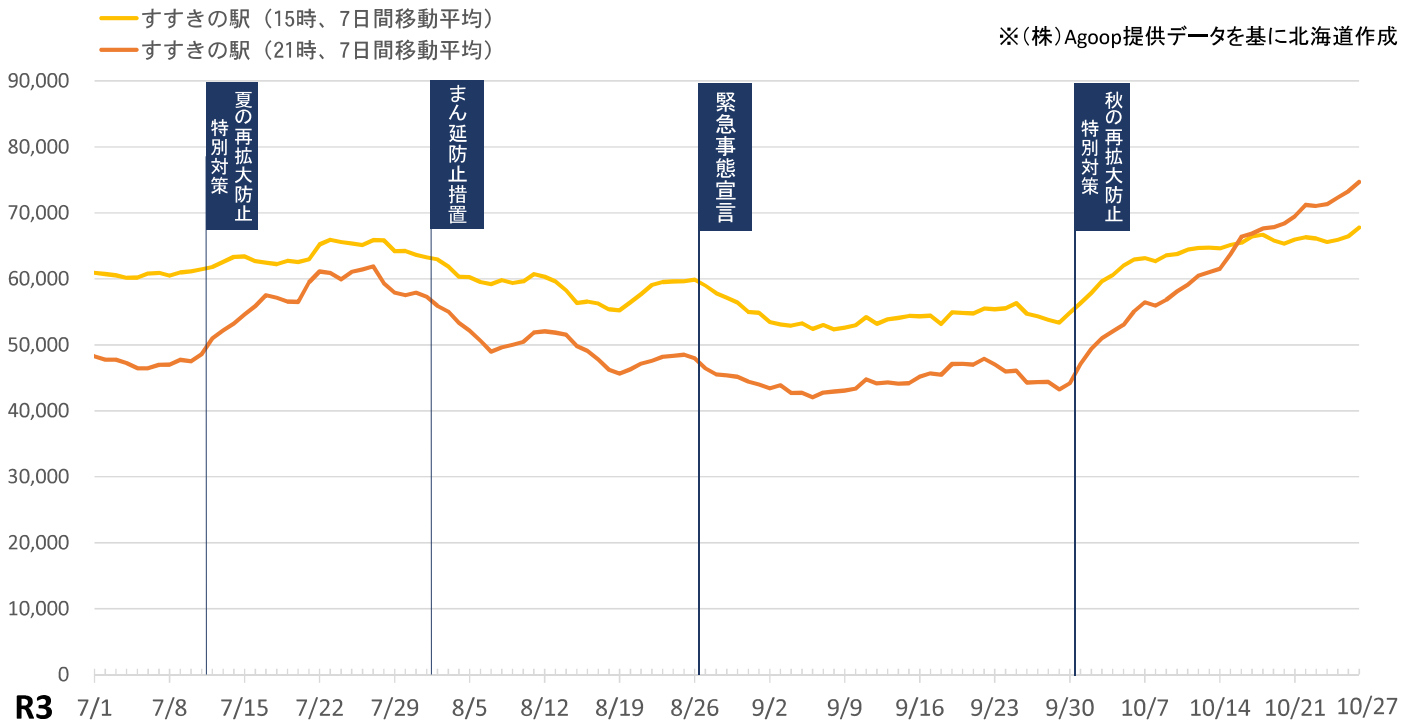
	R3.9.30	R3.10.27 (9/30比)
15時	99,674	118,044 (+18.4%)
21時	37,502	52,516 (+40.0%)

② 重点地域終了前との比較(人)

	R3.10.14	R3.10.27 (10/14比)
15時	112,252	118,044 (+5.2%)
21時	48,128	52,516 (+9.1%)

15

札幌市の人出(すすきの駅周辺)



	R3.9.30	R3.10.27	(9/30比)
15時	54,847	67,786	(+23.6%)
21時	44,192	74,716	(+69.1%)

	R3.10.14	R3.10.27	(10/14比)
15時	64,622	67,786	(+4.9%)
21時	61,514	74,716	(+21.5%)

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。10/26現在)

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	3,959,264	75.7%	3,562,002	68.1%
(参考) 全国	96,496,638	76.2%	88,586,707	69.9%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。
なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合は接種率は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。10/26現在)

区分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率		(参考) 全国の接種率 (10/24現在)	
		1回目	2回目	1回目	2回目
12～19歳	344,205 (6.6%)	58.7%	36.8%	66.9%	47.8%
20～29歳	461,395 (8.8%)	67.4%	52.6%	69.2%	57.1%
30～39歳	545,877 (10.4%)	71.4%	57.8%	72.3%	60.8%
40～49歳	733,566 (14.0%)	78.1%	68.4%	78.5%	70.0%
50～59歳	697,270 (13.3%)	85.2%	78.8%	86.0%	80.4%
60～64歳	338,612 (6.5%)	88.2%	84.5%	88.1%	85.1%
65歳以上	1,668,858 (31.9%)	93.1%	91.9%	92.6%	91.6%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

18

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

3 道内人口区分別接種状況(医療従事者等分を含む。10/26現在)

人口区分(市町村別)	市町村数	人口(人)	接種率(全年代)	
			1回目	2回目
100万人以上	1	1,961,575	72.1%	62.2%
20万人以上	2	583,288	74.4%	64.4%
10万人以上	6	849,242	76.3%	69.0%
3万人以上	13	722,259	76.6%	69.8%
1万人以上	33	578,442	80.7%	77.1%
5千人以上	39	272,482	82.4%	79.8%
3千人以上	41	165,341	83.1%	81.1%
3千人未満	44	96,103	84.1%	82.3%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

19

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 一般接種の状況

- 道医師会や札幌大等と連携・協力の下、石狩振興局管内にお住まいの方を対象に、道が設置・運営してきた集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」について、10月21日(木)で運営を終了。

【接種実績】

使用ワクチン	対象者	接種期間	接種実績
モデルナ	高齢者等	6/19～ 8/13	39,092回
	16歳以上	8/23～10/21	40,902回
アストラゼネカ	原則40歳以上の希望者等	9/11～ 9/12	182回
計			80,176回

- アストラゼネカ社製ワクチンについて、9月11日から接種を開始し、これまでに385人が1回目接種を完了。2回目接種については、11月6日以降順次実施予定。
- 一般向け接種の進展に伴い、特に若年層のワクチン接種率の向上に資するよう、チラシの作成・配布、WEB広告など、ワクチンへの正しい理解の促進等に関する広報を順次実施中。
- 追加(3回目)接種については、接種対象者等の詳細は依然示されていないものの、来年1月までに使用するファイザー社製ワクチン(3回目第1クール)の配分スケジュールや道内への配分量(計114箱)が示されたこと等を踏まえ、12月からの追加接種が可能となるよう、市町村等との調整を進めるほか、引き続き国からの情報収集に努める。



冬の感染拡大防止に向けて

気温の低下や積雪の季節を迎え、屋内で暖房や窓を閉めた活動が増えます。
また、社会経済活動も活発となることから、感染拡大を回避するために、
基本的な感染防止行動を実践しましょう

(案)

令和3年11月1日

北海道

道民及び
道内に滞在
している皆様

- ◆「三つの密(密閉・密集・密接)」の回避や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止行動を実践しましょう。
特に、「換気」など屋内での感染防止行動を実践しましょう。



特に外出
の際は

- ◆発熱や咳など体調が悪い場合には外出を控えましょう。



特に飲食
の際は

- ◆飲食の際は、北海道飲食店感染防止対策認証店など、感染防止を徹底している飲食店等を選び、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用するなど、感染リスクを回避しましょう。
特に、大人数の飲食の際は、より一層注意しましょう。



事業者
の皆様

- ◆業種別ガイドラインを確認し、感染防止に取り組みましょう。
職場においては、特に「休憩室」、「喫煙室」等における感染防止に取り組みましょう。
- ◆飲食店等においては、感染防止の取組をアピールできる
北海道飲食店感染防止対策認証制度の認証を取得しましょう。



学校

- ◆学校では、衛生管理マニュアルに基づき、全ての教育活動において、感染防止に取り組みましょう。



イベントの開催

期間 11月1日(月)から当面の間

- 人数上限※1
5,000人 又は 収容人数50%以内のいずれか大きい方
- 収容率※1
[100%以内] 大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの※2
(席がない場合は適切な間隔)
- [50%以内] 大声での歓声・声援等が想定されるもの※3
(席がない場合は十分な間隔)

※感染予防が徹底されない場合は無観客・オンライン配信での開催に加えて、延期又は中止を検討する。

※1 人数上限と収容率でどちらか小さいほうを限度とする(両方の条件を満たす必要)

※2 クラシック音楽コンサート、演劇、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、式典、展示会等

※3 ロック、ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブでのイベント等

- イベントの開催に当たっては、業種別ガイドラインを遵守するとともに、国の接触確認アプリ(COCOA)の導入や名簿の作成などを徹底しましょう。
- 全国的な移動を伴うイベント又は参加者が1,000人を超えるイベントの実施に当たっては、開催要件等について、道に事前相談してください。

2

道は市町村や関係団体等と連携して、感染拡大防止に向けて取組を進めます

感染拡大防止に向けた取組

- (1)予兆の早期探知と対応
 - 誰から感染したかを把握するための「さかのぼり調査」の徹底
 - 集団感染への迅速な対応(現地対策本部の迅速な設置、広域支援チームの迅速な編成等)
- (2)感染防止意識の醸成を図る普及啓発
 - 屋内活動や会食機会の増加を見据え、基本的な感染防止行動の普及啓発
 - 忘年会、クリスマス、年末年始など、季節的な行事に当たっての普及啓発
 - 漫画やイラストの活用など、若者に向けた普及啓発
 - 地域の感染状況に応じた振興局毎の普及啓発

医療提供体制の確保

- 感染拡大に備えるための新たな方針の策定
- 「確保すべき病床数」「保健所・地域の医療機関の体制」を盛り込んだ「保健・医療提供体制確保計画」の策定
- 新たな方針や計画を踏まえた医療提供体制の着実な整備・確保

ワクチン接種の促進

- 若年層の接種率向上に向けた普及啓発
- ワクチンの効果や接種後の感染防止に関する普及啓発
- 3回目の接種に向けた市町村への支援

日常生活の回復に向けた取組

- 北海道飲食店感染防止対策認証制度の普及促進
- 国が行う技術実証との連携による課題の整理等

3

「冬の感染拡大防止に向けて（道案）」等に対する主な意見

1 有識者・専門家の意見

1-①

屋内での活動が増える冬の到来を迎え、改めて基本的な感染対策の徹底を周知することは重要であると考えます。

飲食店等における道の認証制度の拡大に際しては、商工会等との連携を図ることにより、地域の実態に即した認証制度として定着することが期待される。

1-②

11月1日からのステージ1への移行、冬の感染拡大防止に向けての注意喚起を図りつつ、新しい旅のスタイルなど3事業の利用拡大などに異論なし。但し、感染拡大防止に向けた取組への啓発・発信を忘れずをお願いしたい。

1-③

道案については異論なし。

様々な事業の再開についても問題なし。

この時期に学校・施設・病院などに感染予防の徹底を図る講師の派遣などを通して、クラスターの発生を防いでいただきたい。

1-④

特に問題なし。

11月以降も新規感染者数が減少状態であっても、気を緩めず、引き続き感染防止の慎重な対応が必要。

1-⑤

現在の感染状況から11月以降の取組案について、異存なし。

ワクチンの効果が期待されるが、諸外国の状況を見ると感染対策は引き続き必要で、継続的に周知することが重要と考える。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

基本的な感染防止行動を前提としつつ、飲食の人数制限などの制約を解除することは全国的な傾向であり、本道の感染状況を踏まえると妥当と考える。

一方で、「ワクチン・検査パッケージ」の技術実証が現在行われているので、その検証結果も踏まえることで、感染防止対策の合理性に対する道民理解を深めながら、今後の感染防止と経済活動の両立に向けた施策に取り組んでいただきたい。

2-②

足元の感染状況を客観的に見て、「警戒ステージ1」に該当することに異論はなく、妥当な判断と考える。

警戒ステージは、コロナ対策を的確に講ずるためのベースとなるものであり、ステージ判断の基準及びステージ毎の対策の内容について、改めて道民に丁寧な説明、周知を行い、一人一人が自主的に感染対策に取り組める環境を整えていただきたい。

今回の判断は、社会経済活動の本格正常化の契機となるものであるが、第6波への懸念は払拭されていない。20～30代の2回目のワクチン接種率は5割に留まっており、早期の接種率の引き上げが必要。また、医療逼迫を起こさない十分な病床確保や日常的にPCR検査を受けられる体制の構築など、具体的な目標、期限などを定めて、第6波を未然に防ぎ、マイナス影響を最小限に留めることが肝要である。

社会経済活動の正常化が一番の経済対策である。この環境を守るべく、地域の実状に応じた施策を総動員した経済再生への取り組みを期待している。

1 趣 旨 10月15日の再開後、いずれの圏域も感染が落ち着いており、
今後は、より広域的な旅行においても感染対策が徹底されるよう、
本取組の普及・定着をさらに進める。

2 実施内容 圏域設定を解除し、全道一円を対象
(その他の要件等は従来通り)

3 実施期間 **11月1日** (月) チェックイン~**11月15日** (月) チェックアウト
※ 予約・販売は10月30日(土) 正午から

4 感染拡大した際の対応

行動制限の要請が行われた場合など、これまでと同様の圏域区分ごとに
事業を停止する。

【圏域区分】

①札幌市

③道央2 (後志、胆振、日高)

⑤道 北 (上川、留萌、宗谷)

②道央1 (石狩 (札幌市を除く)、空知)

④道 南 (渡島、檜山)

⑥道 東 (オホーツク、十勝、釧路、根室)

「新しい旅のスタイル」 利用者アンケートの結果概要について

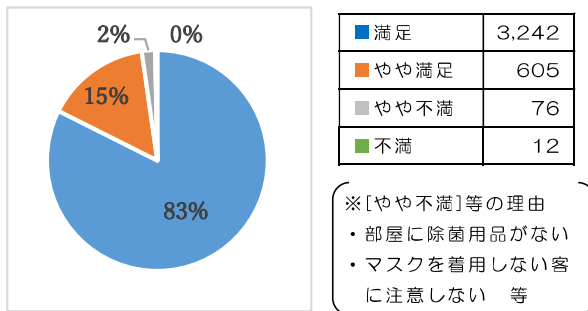
R3.10.25 時点

■ **調査期間** 10月15日（金）から10月23日（土）チェックインまで

■ **回答数** 約3,900枚を回収

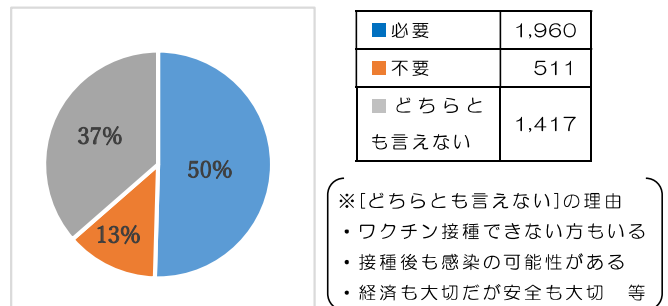
■ アンケート結果概要

① 宿泊施設の感染防止対策について



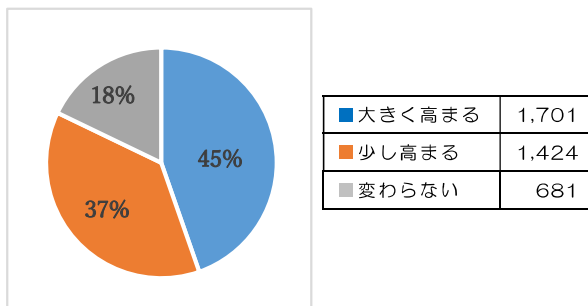
感染防止対策は、「満足」と「やや満足」の割合が98%を占めており、**ほとんどの利用者は、利用した宿泊施設の感染防止対策が十分であると評価。**

② ワクチン接種完了証明書等を提示した場合、外出自粛や人数制限の対象外とする措置の必要性について



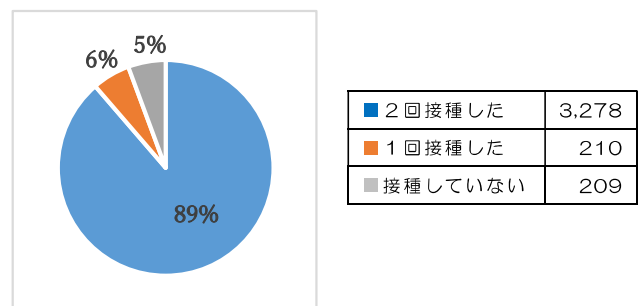
ワクチン・検査パッケージによる制限緩和の必要性について、**必要との回答が50%**を占めているが、ワクチン接種を受けられない方への配慮やブレイクスルー感染への不安などから、「**どちらとも言えない**」との回答も**37%**存在。

③ ワクチンの接種完了者等に限った宿泊プランがあった場合の安心感について



ワクチン・検査パッケージを適用した宿泊プランに対しては、「大きく高まる」「少し高まる」を合わせると、**82%の方が安心感が高まると回答**しており、パッケージの適用に一定の信頼を置いている。

④ 【任意回答】ワクチン接種の有無について

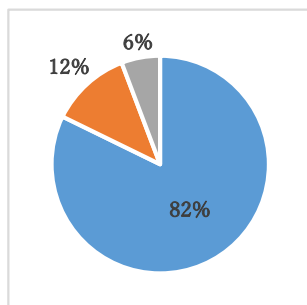


利用者の9割近くがワクチンを2回接種済み。**1回接種者と合わせると95%がワクチン接種済み**である。

⑤ 今後の感染対策のあり方について

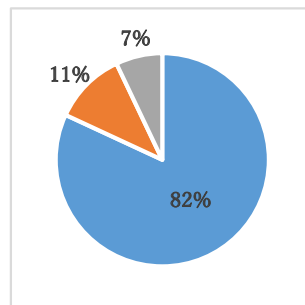
(凡例：■ワクチン接種等に関わらず必要 ■ ワクチン接種者等は不要 ■ ワクチン接種等に関わらず不要)

○ 黙食の推奨



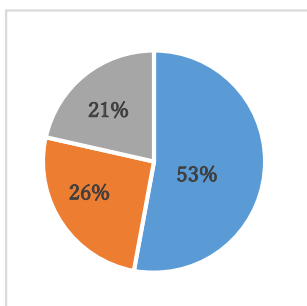
必要	3,206
ワクチン接種者等は不要	466
不要	225

○ 黙浴の推奨



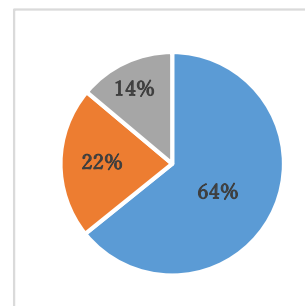
必要	3,182
ワクチン接種者等は不要	429
不要	274

○ 部屋食の実施



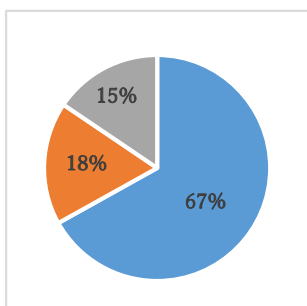
必要	2,017
ワクチン接種者等は不要	976
不要	818

○ 同居者テーブルの実施



必要	2,466
ワクチン接種者等は不要	839
不要	533

○ 利用者からの同意書の提出



必要	2,542
ワクチン接種者等は不要	668
不要	590

【主な理由】

- ワクチン接種等に関わらず必要
 - ・ワクチン接種しても感染の可能性があるため
 - ・客観的に利用者が接種完了者か否か判別できないため
 - ・できることは何でもして少しでも感染率を下げるができると思うから 等
- ワクチン接種者等は不要
 - ・ワクチン接種していれば安心感があるため
 - ・ワクチン接種者には自由があった方がいい、優遇してほしい 等
- ワクチン接種等に関わらず不要
 - ・飲食店等で感染防止策をしっかりやっていれば必要はない
 - ・差別になると思うので平等にすべき 等

いずれの項目でも「ワクチン接種等にかかわらず必要」との回答が過半数を占めており、特に「①黙食の推奨」「②黙浴の推奨」については8割以上の回答が「必要」となるなど、ワクチン接種が進んだ状況においても、これまでの感染対策を続けていくことが重要と考えられる。

1 趣 旨 10月15日の再開後、いずれの圏域も感染が落ち着いており、
今後は、より広域的な移動が可能な割引乗車券等の販売を
再開する。

2 実施内容 圏域設定を解除し、全道一円を対象
(その他の要件等は従来通り)

3 実施期間 **11月1日** (月) ~ 令和4年 **2月末** (予定)
(販売期間) (交通事業者の準備が整い次第、順次販売再開)
※ 使用は、11月1日 (月) ~ 令和4年3月末

4 感染拡大した際の対応

行動制限の要請が行われた場合、これまでと同様の圏域区分ごとに
割引乗車券等を販売する。

【圏域区分】

①札幌市

③道央2 (後志、胆振、日高)

⑤道北 (上川、留萌、宗谷)

②道央1 (石狩 (札幌市を除く)、空知)

④道南 (渡島、檜山)

⑥道東 (オホーツク、十勝、釧路、根室)

- 趣旨** 10月15日の店内利用再開後、感染が落ち着いており、今後は、利用人数等の制限を解除する。
- 実施内容** 利用人数（4人以内（単位））・利用時間（2時間以内）の制限を解除
- 実施期間** **11月1日（月）から利用条件を緩和**
※ 販売期間～11月15日（月）、利用期間～12月15日（水）

4 感染拡大した際の対応

今後、感染状況が拡大に転じた場合は、利用人数の制限を設ける。また、行動制限を要請した場合、その地域において店内利用を停止し、テイクアウト、デリバリーのみとする。

【参考】

「Go To Eat北海道お食事券」

販売冊数	1 0 0 万冊
販売実績	3 6 万冊
販売場所	道内の金融機関 4 3 5 カ所
登録店舗数	7, 4 7 5（R3.10現在）